

その他にもいろいろありました...

◆ 熊本地震からの創造的復興

● 阿蘇へのアクセスルートの回復

国道57号北側復旧ルート之二重峠トンネルを含む全線が2月23日に貫通し、俵山ルートは9月14日に全線開通するなど大きく進展しました。また、国道57号現道部分(南阿蘇村立野)の開通見通しが明らかとなり、北側復旧ルート、国道325号阿蘇大橋ルートとともに、全ての幹線道路が来年度中に開通する見通しとなりました。



国道57号北側復旧ルート全線貫通式

● 益城町の復興まちづくり

県道熊本高森線の4車線化は、1月にモデル地区の工事に着手し、順次範囲を拡大するなど、順調に整備が進んでいます。また、住民の意向をより丁寧に把握しながら事業の加速化を図るため、4月に「県益城復興事務所」を益城町内へ移転しました。

◆ 幹線道路ネットワークの整備

● 九州中央自動車道(「矢部～蘇陽間」)の計画段階評価着手

九州中央自動車道の「矢部～蘇陽間」では、9月11日に計画段階評価の手続きが開始され、事業化に向けた第一歩を踏み出しました。

● 中九州横断道路(「竹田阿蘇道路」の新規事業化と「大津～熊本間」の都市計画等手続きの進展)

中九州横断道路では、「竹田阿蘇道路(約22.5km)」が2019年度新規事業化され、11月17日に、大分県竹田市で中心杭打ち式が開催され、本格的な測量に着手されました。また、「大津～熊本間」の都市計画案及び環境影響評価書について、12月18日の熊本県都市計画審議会及び19日の熊本市都市計画審議会において議決され、令和2年度の新規事業化に向けた都市計画決定のための前提条件が整いました。

● 熊本天草幹線道路(「大矢野道路」の新規事業化と「本渡道路」の開通見通し公表、および「宇土～三角間」の計画段階評価着手)

熊本天草幹線道路では、「大矢野道路」の国の補助採択を受け、2019年度新規事業化するとともに、「本渡道路」については、令和4年度の開通見通しを公表し橋梁工事等を推進しました。また、「宇土～三角間」では、5月28日に計画段階評価の手続きが開始され、事業化に向けた第一歩を踏み出しました。

◆ 自転車の活用(サイクルツーリズム)と安全な自転車通行空間整備の推進

昨年設立された「人吉球磨サイクルツーリズム推進協議会」に加え、「天草(1月26日)」「阿蘇(3月22日)」「菊池・山鹿(10月31日)」の各地域において、サイクルツーリズムの推進協議会が設立され、安全で安心して走行できる自転車利用環境の創出に向けた取り組みが進められました。

◆ スマートICの開通や道の駅の開駅など

- 1月30日:道の駅「さくすい」重点道の駅に登録
- 3月24日:「北熊本スマートインターチェンジ」開通
- 6月10日:道の駅「天草市イルカセンター」開駅
- 8月10日:「人吉球磨スマートインターチェンジ」開通
- 〃 :道の駅「人吉」開駅



人吉球磨スマートインターチェンジ開通式

さてさて来年は・・・(2020年の主な予定)

● 国道219(神瀬工区) [球磨村]	延長0. 26 km	春頃: 供用予定
● 国道266号(松橋工区) [宇城市]	延長0. 22 km	春頃: 供用予定
● 国道443号(石原橋拡幅) [美里町]	延長0. 18 km	冬頃: 供用予定
● (主)熊本高森線(都)益城中央線 [益城町]	延長0. 30 km	春頃: 供用予定
● (主)水俣田浦線(福浦工区) [芦北町]	延長0. 20 km	冬頃: 供用予定
● (一)田代御船線(上野2工区) [御船町]	延長0. 15 km	春頃: 供用予定
● (一)大津西合志線(原水工区) [菊陽町]	延長0. 41 km	春頃: 供用予定
● (一)和仁菊水線(太田黒・江栗工区) [和水町]	延長1. 10 km	春頃: 供用予定
● (一)碓石中田線(碓石工区) [天草市]	延長1. 02 km	冬頃: 供用予定
		・・・ほか

2020年もよろしくお願ひします

熊本県

道路かわら版 2019

※期間: 2019年1月～2019年12月

熊本高森線 俵山ルート[®]の全線開通

【西原村～南阿蘇村】



写真提供: 国土交通省熊本復興事務所

熊本地震により被災し、国の直轄代行により復旧が進められていた、熊本高森線の俵山ルートで、俵山大橋が8月3日に完成・供用開始され、最後不通区間であった大切畑大橋も完成し、9月14日に全線が開通しました。

令和元年12月27日

道路整備課・道路保全課・都市計画課

2019年の主な出来事・供用箇所

※期間：2019年1月～2019年12月

凡	例
高規格幹線道路	地域高規格道路
供用区間	供用区間
基本計画整備計画	計画路線
	調査区間
	整備区間
一般国道	候補路線
主要地方道	



①道の駅「旭志」防災拠点化整備完了 (菊池市)



県が管理する一体型道の駅で初めてとなる、道の駅「旭志」の防災拠点化整備が完了しました。
断水時や停電時にも利用可能な防災トイレ等が完備され、大規模災害発生時の一時避難所等として貢献することが期待されます。

②(都)長洲玉名線(国道389号)の開通 (長洲町)



都市計画道路長洲玉名線において、延長1.3kmのバイパス整備が完了し、5月27日に供用開始しました。
安全で円滑な交通の確保とともに、長洲港へのアクセス向上など、地域の活性化や産業の発展等に寄与することが期待されます。

③国道266号(望薩峠拡幅)の開通 (上天草市、天草市)



国道266号(望薩峠拡幅)において、延長430mのバイパス整備が完了し、10月2日に供用開始しました。
安全で円滑な交通確保に加え、国道324号と連携して、天草上島の環状を形成することで、地域産業の振興や観光の活性化等に寄与することが期待されます。

④南九州西回り自動車道「津奈木IC～水俣IC」間の開通 (津奈木町、水俣市)



国が整備を進めている南九州西回り自動車道 芦北出水道路の「津奈木IC～水俣IC」間(延長:5.6km)が3月2日に開通しました。
九州南西部の広域的な連携や地域産業の活性化等に寄与することが期待されます。

⑤(一)八代不知火線(横江大橋)の開通 (八代市)



熊本地震で通行止めになっていた県道八代不知火線横江大橋(橋長:200m)の災害復旧工事が完了し、2月2日に供用開始しました。
大きな迂回が必要となっていた大型車の通行が可能となるとともに、八代港へのアクセスが向上し、地域の活性化や産業の振興等に寄与することが期待されます。

⑥国道443号(佐俣工区)の開通 (美里町)



国道443号(佐俣工区)において、延長448mのバイパス整備が完了し、約950mの佐俣工区全体が3月18日に完成しました。
幅員狭小が解消され、安全で円滑な交通の確保されたことで、地域の皆様の利便性向上とともに、地域の活性化等に寄与することが期待されます。

⑦(主)錦湯前線(一武工区)の開通 (錦町)



主要地方道錦湯前線(一武工区)において、延長1.3kmのバイパス整備が完了し、12月19日に供用開始しました。
安全で円滑な交通の確保や走行時間短縮により、観光振興や地域の活性化等に寄与することが期待されます。

⑩(一)内牧坂梨線(三野工区)の開通 (阿蘇市)



一般県道内牧坂梨線(三野工区)において、延長2.0kmのバイパス整備が完了し、8月7日に供用開始しました。
生活道路としての利便性が向上するとともに、災害時に安全な避難路が確保され、救助・復旧活動等に寄与することが期待されます。

⑨(一)小池竜田線(小池工区)の開通 (益城町)



一般県道小池竜田線(小池工区)において、延長1.6kmのバイパス整備が完了し、10月12日に供用開始しました。
児童の通学など歩行者の安全性向上とともに、近隣の九州中央自動車道小池高山ICへのアクセス向上により、地域の活性化等に寄与することが期待されます。

⑧(一)御船甲佐線(田口橋)の開通 (甲佐町)



熊本地震で通行止めとなっていた一般県道御船甲佐線田口橋(橋長:263m)の災害復旧工事が完了し、8月18日に供用開始しました。
災害復旧に併せ、2車線化を図ったことで、通勤・通学の利便性向上とともに周辺道路の渋滞緩和など、地域の活性化等に寄与することが期待されます。